学校番号	T0105

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰでは、ただ、「描く」のではなく、いろいろな素材をつかって「考え創造する」ことを目的として取り組みます。

・中学美術で習った色彩の知識や、技法を生かし、発展させ、自分自身で考え創造する力を養いながら表現していくように各課題に取り組めるように展開していきます。

2　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	C:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多用な視点から創造的に味わっている。
評価方法	課題作品 ワークシート	課題作品 ワークシート	課題作品 ワークシート	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	イミテーションストーン	張子の技法を使って、本物そっくりの石を制作する。	○	○	○		a:対象物に興味を持ち主題を生成している b:自然の中にある色や質感を再現できるよう色彩の表現を練っている c:意図に応じて表現方法を工夫し、複雑な混色に挑戦している d:他者の作品について多用な視点から観察できている	課題作品
	デッサン	「箱」 「紙コップ」	○ ○		◎ ◎		a:デッサンの技法に興味関心を持っている b:立方体や紙コップの表現の仕方を考えている c:道具の特性を理解し、効果を生かして表現している d:鑑賞することで立方体や紙コップの形状をしっかりととらえている	課題作品
	モナリザポーズの〇〇	モナリザの形とポーズを別のキャラクターで画用紙に写す	○	○	◎	○	a:興味関心に基づき主体的に主題を生成している b:形体、色彩、構成の創造的な表現の構想を練っている c:意図に応じて表現方法を工夫している d:相手の作品に関心を持ち鑑賞している	課題作品 ワークシート
後期	スクラッチデザイン	アクリル板を削り絵の具を塗る	○	○	◎		a:興味関心に基づき主体的に主題を生成している b:形体、色彩、構成の創造的な表現の構想を練っている c:用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫している d:相手の作品に関心をもち鑑賞している	課題作品 ワークシート
	砂絵	砂絵の構造、表現方法の理解、創作	○	○	◎		a:興味関心に基づき主体的に主題を生成している b: 形体、色彩、構成の創造的な表現の構想を練っている c:意図に応じて表現方法、技法を工夫し作成している d:相手の作品に関心を持ち鑑賞している	課題作品 ワークシート

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇（又は◎）を付けている。